



平成26年9月4日(木)

校長通心 No.30 校長 馬場教二



不出来な絵 (石垣いん)

この絵を貴方にさしあげます
下手ですが 心をこめて描きました
向こうに見える一本の道
あそこに 私の思いが通っております
その向こうに展げた空 うす紫とバラ色の
あれは私の見た空、美しい空
それらをささえる湖と 湖につき出た青い岬
すべて私が見、心に抱き そして愛した風景
あまりに不出来なこの絵を
はずかしいと思えばとてもあげられない
けれど貴方は欲しい、と言われる
下手だからいやですと言いつけてみたものの
そんな依怙地さを通してきたのが
いま迄の私であったように ふと思われ
それでさしあげる気になりました
そうです 下手だからみっともないという
それは世間体
遠慮や見得のまじり合い
そのかげで 私はひそかに でも愛してる
自分が描いた その対象になったものを
ことごとく愛している と、きっぱり思っているのです
これもどうやら 私の過去を思わせる
この絵の風景に日暮れがやってきて
この絵の風景に冬がきて 木々が裸になったとしても
ああ愛している まだ愛している と思うのです
それだけ、それっきり
不出来な私の過去のように
下手ですが精いっぱい 心を込めて描きました

体育祭完全燃焼！！そして、2学期スタート…

「やれる」「やれない」は基準の問題！「やる」「やらない」は意志の問題！

想輝勝戦～大地を揺るがせ いざ三国決戦～のテーマのもと行われた平成26年度体育祭。各学年の徒競走からスタートし、技能走、男女別の団体競技、綱引き予選、学級対抗リレーと午前の部を終えた時点で紅軍708点、白軍706点、黄軍708点と手に汗を握る接戦。午後の部の全軍のプライドを懸けた応援合戦⇒かにレース⇒綱引き⇒軍対抗リレーに全力を尽くした結果、軍配は紅軍の優勝で幕を閉じた。市川中の体育祭の見どころは何と言っても午後に凝縮されていると思う。各軍の「絆のシャフト」を懸けた闘い！そして、閉会式成績発表での生徒会のパフォーマンス！……………「体育祭をやり切った」という充実感の表情と歓声に今年も感動した…。そして、いよいよ本格的な2学期のスタートでもある。さしあたって、1～2年生の秋季大会と3学年の私立高校説明会＆実力テスト、その後の3次考査と「文武両輪」は、いつもみんなの目の前で待っている。

こんな実話がある。2学期のスタートにあたり、今の自分自身を見つめ直してみしてほしい。…「タコ」と聞くと、8本足のタコ、空を飛ぶタコといろいろあるけれど、北海道の開拓当時、東北などの田舎から人買いのような男が甘い言葉で連れ出しそのまま監獄同然の飯場に押し込み強制労働させた土方のことも「タコ」と呼んだらしい！！自分の手足を食って生きていくような悲惨な生活からタコと呼ばれたのだそうだ。

北海道の鉄道や道路は、ほとんどこのタコと囚人によって開かれたとも言われているらしく、枕木一本が死人と同じ数だと言われている所もあるんだそうだ。このタコは昭和に入っても続き、炭鉱などで酷使され戦後になり、ようやく解散された。…これを見た人の話によると、真冬だというのにボロボロの作業服をまとい、髪もひげも伸び放題でスコップやツルハシをかついで黙々と歩いて行く。…そして列の最後には必ず屈強な棒頭がついていて逃亡者を見張っている。飯場では、せんべい布団にザコネで食事はおかゆを立て流し込み普通の土方ではとても耐えられない悪条件の下でこき使われる。…当然、かなりのタコが逃亡をはかったらしいが、大部分は途中でつかまり連れ戻され、半殺しに痛めつけられる。…が、しかし、うまくここを逃げ出したタコがいて、が、しかし、な、な、な、なんとそのタコが自分からこの飯場へ戻って来たというのだ！！そのタコが言うには「逃げて街には出てみたけれど、自分を叱る人がいなくて飢え死になりそうになって戻って来た。」と言うのである。このタコは逃げた街で真面目に仕事をしようとしたが、自由すぎて、叱ってくれる男がいない。タコの時は、常に横に監視がいて、なまけると棒で殴られた。それが恐くて働く。つらいけど働いている限り飢えることはない。この男は長年、タコとして働かされてるうちに他人に監視され、殴られなければ仕事ができない習性が身につけてしまったのである！！

この実話は人間の本质、弱さを典型的にあらわしていると思うけれど、もしかして、みんなの中にも、この人の前だったら、ごまかして楽なことができるか、あの人の前では叱られて恐いから真面目にやんなきゃならないとか、人を見て態度を変えている人がいたら、それこそ「タコ」になってしまう。

「やれる」「やれない」は基準の問題だけれど「やる」「やらない」は、あくまでも意志の問題だと思う！！「やらない」のなら、なぜ「やる気」が起きないのかを考えなければならぬし、「やれない」のなら、何がやれなくて、何からやれるのかを考えればいいのだと思う！！

……さて、これからの2学期間、様々な行事を成功させながら文武の両輪をバランスよく回転させ、自分自身と集団を成長させていかなければならない。そして、そのたびに『絆シャフト』の部分でたくさんの悩みが出てくるはずである。でも、その時こそが自分と集団を成長させる絶好の機会になっていることを忘れるな！！…なぜなら、悩み、苦しむということは今の自分や集団に満足していない証拠だからである…。裏を返せばもっと良くなりたいという向上心の表れと言っている。大いに悩んで大きく成長していく！！これが2学期だと思う！！